

令和2年4月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和2年4月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

本事務所は、今年度も昨年度同様、所長の古町と川村、籠利の3名体制です。皆様におかれましては、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

クロススポーツマーケティングと八戸市が連携し、八戸駅西地区に整備した多目的施設「フラットアリーナ」を核とした一帯のエリア「フラット八戸」が4月1日にオープンしました。

東北フリーブレイズの本拠地となるアリーナ内のアイスリンクは通年型施設で、アイスホッケーのほか、移動式フロアを設置することで室内競技やイベント開催も可能となり、収容人数は、アイスホッケー利用時が約3,500人、アリーナ利用時が約5,000人です。

施設の予約方法や利用料金などは、公式ホームページでご確認ください。

### ◆「フラット八戸」の公式ホームページ

<https://flathachinohe.com/>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 入戸 4月号 レポート

令和2年3月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	「はちのへ郷土かるた」令和版完成
(2)	八戸市魚市場A棟 新改善計画が国に認められない場合は「休止も含め検討」
(3)	蕪島物販施設「かぶーにゃ」4月17日オープン
(4)	八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」のロゴ公表
(5)	ドクターカー運用10年 救命率向上に大きく貢献

## 【産業】

記事	概要
(6)	惣菜・弁当グランプリ2020「青森は旨い海苔さば弁当」（ユニバース）が金賞
(7)	八戸港新フェリーターミナルビル基本構想公表
(8)	シャンパン「ダミアン・ウーゴ」販売総数 八戸パークホテルが1位
(9)	JR八戸線「リゾートうみねこ」定期運行終了
(10)	八戸-室蘭航路 13年ぶりに運航

## 【地域】

記事	概要
(11)	八戸公園 桜の剪定枝無料配布 ～一足早い春 心待ちに～
(12)	北日本を中心に暴風 八戸で観測史上最大の風速43.4メートル
(13)	八戸 暖冬少雪 降雪量は平年の半分以下
(14)	蕪嶋神社再建完了 一般公開始まる
(15)	八戸工高材料技術科3年生全員 ジュニアマイスター認定

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	女性ヒップホップダンサー国際大会 沢上りんかさん（八戸市）世界一
(17)	日本ジュニア管打楽器コンクール・フルート小学生の部 近藤さん（白銀小）予選突破
(18)	フラットアリーナ こけら落としのアイスショー中止
(19)	ブックカバーで縄文遺跡群PR

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>「はちのへ郷土かるた」令和版完成</b></p> <p>八戸市の名所や史跡、郷土料理などを紹介する「はちのへ郷土かるた」が、令和への改元を踏まえて31年ぶりに改訂され、令和版が完成した。新かるた作成には、青森県立八戸商業高商業科の生徒が主体的に関わり、読み札や絵札の選定、箱の表紙デザインなどを考案した。1セット千円（税込み）で、八戸市教委教育指導課やユートリーなどで販売している。</p>
(2)	<p><b>八戸市魚市場A棟 新改善計画が国に認められない場合は「休止も含め検討」</b></p> <p>稼働が極端に低迷する八戸市第3魚市場荷さばき施設A棟について、小林真市長は、2020年度中に策定を目指す新たな改善計画が国に認められない場合、「休止も含め抜本的な改善策の検討に入らざるを得ない」との考えを表明した。低迷が続けば、整備に要した補助金5億5千万円の返還を国に迫られる可能性がある。八戸市は2020年度中に事後評価と新たな改善計画を策定し、運用を続ける構えを示している。</p>
(3)	<p><b>蕪島物販施設「かぶーにゃ」 4月17日オープン</b></p> <p>八戸市が蕪島地区で建設を進める蕪島物産販売施設（愛称・かぶーにゃ）について、市は4月17日にオープンすることを明らかにした。施設は木造平屋で、建築面積は255平方メートル。物販や飲食サービスは、鮫観光協会や鮫町振興会などの地元関係者が立ち上げた「鮫蕪島物産販売合同会社」が手掛ける。水産加工品や菓子といった地元の土産品を取り扱うほか、飲食メニューも提供する予定。</p>
(4)	<p><b>八戸都市圏交流プラザ「8 base（エイトベース）」のロゴ公表</b></p> <p>八戸市は今年6月下旬に東京都内に開設する八戸都市圏交流プラザ「8 base（エイトベース）」のロゴを公表した。ロゴのデザインは、八戸圏域を特徴的に示す漢字の「八」と数字の「8」を組み合わせ、「八戸」の文字をシンボル化したもので、伝統とモダンの融合をコンセプトにしている。エイトベースに掲げるのれんやスタッフのユニホーム、ショップバッグなどに使用する。エイトベースは、八戸圏域8市町村の特産品の販路拡大に向けた飲食・物販機能を備え、観光誘客や首都圏からの移住促進も目指す新たな交流拠点。</p>
(5)	<p><b>ドクターカー運用10年 救命率向上に大きく貢献</b></p> <p>八戸市立市民病院を拠点に活動するドクターカーが運用開始から10周年を迎えた。2010年3月の運用開始以来、出動件数は累計1万件を超える。予測救命率50%以下の患者が助かった「劇的救命」も200件近くに上り、八戸圏域の救命率向上に大きく貢献している。一方、患者を乗せた救急車とドクターカーの医師が接触する「ランデブーポイント」の確保が重要となっており、近年、地元のコンビニエンスストアが場所を提供するなど地域の支援が大きな力となっている。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p><b>惣菜・べんとうグランプリ2020 「青森は旨い 海苔さば弁当」(ユニバース) が金賞</b></p> <p>スーパーのユニバース(八戸市)が製造する「青森は旨い 海苔さば弁当」が、日本最大級の食品コンテスト「ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ2020」の「わが社自慢の惣菜部門」で最高の金賞に輝いた。弁当には八戸前沖さば、陸奥湾産ベビーホタテ、サケ、ナガイモ、ゴボウなどの厳選した県産食材を使用。郷土料理のイカメンチも入れ、県産米「つがるロマン」を米飯にした。価格は598円(税抜き)で、北東北の全58店舗で3月21日から発売している。</p>
(7)	<p><b>八戸港新フェリーターミナルビル基本構想公表</b></p> <p>青森県フェリー埠頭公社は、建て替える予定の八戸港新フェリーターミナルビルの基本構想を公表した。鉄筋コンクリート造り2階建て、総面積は2320平方メートルで、現在の約1.7倍の広さとなる。施設の外観については、「港町八戸」の歴史や文化をイメージしたデザインとし、内装には南部裂織など伝統工芸のモチーフを取り入れる。2022年度中に本体工事に着手し、2023年度末の完成、2024年4月の供用開始を目指す。</p>
(8)	<p><b>シャンパン「ダミアン・ウーゴ」販売総数 八戸パークホテルが1位</b></p> <p>シャンパンの「ダミアン・ウーゴ」の販売総数を競う企画(ワイン輸入業者「The Opener」主催)で、八戸パークホテルが料飲店部門で全国1位を獲得した。ダミアン・ウーゴは、フランスのシャンパーニュ地方で生産。2013年に初めて日本に輸入された。同ホテルでは忘年会や新年会といった宴会に合わせて多くの注文が入り、リピーターも増えた。ホテルの関係者は「八戸市民の皆さんがオーダーしてくれたおかげ、『ワインのまち八戸』をさらに盛り上げたい」と話している。</p>
(9)	<p><b>JR八戸線「リゾートうみねこ」定期運行終了</b></p> <p>2011年4月からJR八戸線を走ってきたリゾート列車「リゾートうみねこ」が3月29日、車両の老朽化が進んだため定期運行を終了した。空と海の二つの青色と、水平線に上る太陽をイメージしたオレンジ色のラインが特徴のリゾートうみねこ。3両編成で、大きな車窓から風景を眺められる展望席や、畳敷きの座席が設置され、休日を中心に運行された。この日は最後の乗車を楽しもうと、八戸駅に多くの鉄道ファンらが訪れ、指定席はほぼ完売した。最後の運行は6月13、14日に企画されている、八戸駅から三陸鉄道リアス線の盛駅に直通する団体臨時列車「ありがとうリゾートうみねこ」となる予定で、その後は廃車となる。</p>
(10)	<p><b>八戸-室蘭航路 13年ぶりに運航</b></p> <p>川崎近海汽船(東京)は、八戸市と北海道室蘭市を結ぶフェリー航路について、4月1日から1日1往復で運航を始めた。八戸-室蘭航路が開設されるのは2007年以来、13年ぶり。運航ダイヤは、午前6時45分に八戸を出発し、室蘭に午後2時に着く便と、午後8時半に室蘭を出発し、翌日の午前3時半に八戸に着く便の1日1往復。八戸と北海道を結ぶ航路は、現在4往復が運航されている苫小牧航路を含めて1日5往復に増便され、物流の拠点性が高まる。</p>

## 【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>八戸公園 桜の剪定枝無料配布 ～一足早い春 心待ちに～</b></p> <p>八戸公園の指定管理者・三八五流通は3月15日、公園内東側の「サクラの杜」に植えられた桜の剪定枝を、希望者200人に無料配布した。サクラの杜には、ソメイヨシノなど約600本が植えられており、剪定枝の配布は今年で5回目となる。枝は花瓶に挿して水をやり、室温15度以上の屋内で、窓際以外の日光が入る場所に置いておくと、2週間程度で開花する。この日は朝早くから市民らが集まり、一足早い春を感じようと、つぼみの付いた桜の枝を受け取っていた。</p>
(12)	<p><b>北日本を中心に暴風 八戸で観測史上最大の風速43.4メートル</b></p> <p>北日本を中心に暴風が吹き荒れた3月20日、八戸市では午前9時12分、1951年の観測開始以来最も強い最大瞬間風速43.4メートルを観測した。トタン屋根や壁の一部が飛ばされるなどの被害が多数発生し、けが人が相次いだ。倒木などで、各地で停電も発生し、青森県内は最大で7726戸、うち八戸市では826戸が停電した。また交通機関にも大きく影響し、東北新幹線が運転を見合わせるなど、3万3400人の足が乱れた。</p>
(13)	<p><b>八戸 暖冬少雪 降雪量は平年の半分以下</b></p> <p>青森県内は今冬、暖冬少雪の傾向が続いた。八戸の2019年12月～2020年2月の3カ月間の平均気温は1.4度で平年値0.1度を1.3度上回り、1936年の統計開始以来、5番目に高かった。また、同時期の累積降雪量は83センチと平年の半分以下だった。気温が高い傾向は4月以降、次第に収まる見込みだが、少雪で懸念されるのは水不足。積雪が少ない影響で、農作業などで使われる雪解け水が平年より少ない恐れがあり、青森地方気象台の関係者は「危機的状況でもある」と指摘している。</p>
(14)	<p><b>蕪嶋神社再建完了 一般公開始まる</b></p> <p>2015年11月の火災で社殿を焼失し、新たな社殿が竣工した蕪嶋神社で3月25日、再建事業に関する最後の神事「御遷座（せんざ）祭」が行われた。また3月26日には例大祭が行われ、野澤俊雄宮司の祝詞奏上や鮫神楽の奉納に続き、福島哲男再建実行委員長が玉串をささげた。午後には新社殿内部の一般公開が始まり、「地域のシンボル」の復活を待ち望んでいた市民らが参拝に訪れた。</p>
(15)	<p><b>八戸工高材料技術科3年生全員 ジュニアマイスター認定</b></p> <p>青森県立八戸工業高材料技術科の3年生35人全員が、取得資格などを点数化して顕彰するジュニアマイスターに認定された。ジュニアマイスター顕彰制度は、資格取得や検定合格によってポイントが与えられ、ポイントをためてランクを上げていくと、大学進学の際に奨学金が給付されたり、就職に有利になったりと利点がある。さらに高度な資格を多く取得する「ジュニアマイスター特別表彰者」には、同科と機械科、土木建築科の3年生計5人が選ばれ、例年以上の快挙に生徒や教員らは喜んでいる。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>女性ヒップホップダンサー国際大会 沢上りんかさん（八戸市）世界一</b></p> <p>国内外のヒップホップダンスの大会で活躍する八戸市のダンスインストラクター沢上りんかさん(20)が、2月8日にシンガポールで開催された女性ヒップホップダンサーの国際大会「THE LADIES CALL VOL.4」で世界一の栄冠を勝ち取った。国内の大会で思うような結果を残せず、国際大会に出るか悩んだが、家族や友人、生徒たちの応援もあり、出場を決意。本番では実力通りのパフォーマンスを披露し、9カ国から出場した約120人の頂点に立った。</p>
(17)	<p><b>日本ジュニア管打楽器コンクール・フルート小学生の部 近藤さん（白銀小）予選突破</b></p> <p>八戸市立白銀小5年の近藤凜音さんが、今年2月に行われた第22回日本ジュニア管打楽器コンクール・フルート部門、小学生の部で予選を通過し、見事本選への出場権を獲得した。コンクールの予選は、フルートの演奏を吹き込んだCD音源による審査。近藤さんの音色が審査員の耳を捉え、晴れて狭き門を突破した。だが、3月23日に東京で予定されていた本選は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って中止になった。「今年こそは」と並々ならぬ思いで挑んでいただけに、近藤さんは一度は落ち込んだが、前を見据え、高みを目指して練習に励んでいる。</p>
(18)	<p><b>フラットアリーナ こけら落としのアイスショー中止</b></p> <p>八戸駅西地区の多目的施設「フラットアリーナ」のこけら落としイベントとして予定されていたアイスショー「スターズ・オン・アイス」八戸公演（4月3～5日）について、新型コロナウイルス感染拡大対策として、中止することが決まった。事前に2会場（大阪、愛知）が中止決定していたこともあり、開催に向けて全国のファンの期待が高まっていた。アイスショーに代わるこけら落としイベントの開催は未定となっている。</p>
(19)	<p><b>ブックカバーで縄文遺跡群PR</b></p> <p>2021年の世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上の取り組みとして、3月25日から県内の成田本店4店と東京都内のブックファースト6店で、県版の縄文遺跡群オリジナルブックカバー広告の配布を始めた。カバーイラストは八戸市立根岸小6年の杉本よし埜さんの作品で、是川石器時代遺跡（八戸市）から出土した漆器を基にした版画「世界に誇る縄文の美—URUSHINURI—」を採用した。カバーは文庫版サイズに対応しており、配布予定は2万枚。</p>